

## 事業計画書

事業名	冬休み学習支援 書き初め講座
実施場所	サンウエルぬまづ 4階多目的ホール
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年6月1日～2020年1月31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

通級指導教室を利用している児童・利用していないが学習の支援が必要な児童への長期休暇での宿題の支援活動。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

学校教育法施行規則に基づき、通常の学級に在籍する軽度の障がいをもつ児童が、個々の障がいの状態に合わせて受けられる個別指導が通級指導教室である。通級指導教室を利用している児童は、通級指導教室が利用できない長期休暇の宿題をやり遂げる事が困難な状況におかれる。実際自身の子が通級指導教室に在籍し、長期休暇の宿題をやり遂げることが困難であった辛い経験から、学習支援の場があったらよいと切望していた。

2011年に通級指導教室を卒級し0Bとなり、沼津2小・ことばの教室で全員加入する、静岡県ことばと心を育む会の役員として、助成金を受け0B事業として様々な勉強会、茶話会を開催してきた。自身の子育てのなかでの辛い経験を活かし学習支援活動を行いたい、と考えた。

書道の授業はあっても、書き初めの説明が不十分な学校もある。書字に困難さを抱える以外に、書き方や筆の使い方がわからない児童も多く存在する。また、家庭で広い場所を確保しにくく、不器用さを抱える児童が、広いスペースで自分のペースで行うことができ、コツを講師から教授してもらえば書き上げることができるのではないかと考えた。2015年より通級指導教室に在籍中、過去在籍の児童に対し、学習支援として3年前から開催できることとなった。来年度より沼津2小・ことばの教室で全員加入する、静岡県ことばと心を育む会からの助成金がいただけなくなることもあり、この企画により通級指導教室を利用していない児童でも学習が困難な児童の支援が広く行えたらよいと考えた。

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
2019年6月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日の検討（講師、スタッフの予定・学校の休暇開始日等確認する）</li> <li>・講師と参加人数や会場、昨年の状況を考慮した募集に関する打ち合わせ</li> <li>1. 硬筆で参加したい児童を何人受け入れるか（来場時間の調整）</li> </ul>

	<p>2. 昨年度までは時間きっちりに来場することが苦手等の性質を考慮し、また児童の緊張を緩和するために来場する時間を確認することはあえてしていなかったが、午前・午後の部とざっくり時間帯を把握して申し込みしてもらうことで受け入れ人数を増やす。・会場の予約</p>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日スタッフの打診（2～3名）</li> </ul> <p>書き初め講座に過去に参加していた子ども（高校生以上）にもスタッフとして声をかけてみる。</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座中、講師の昼休憩中に行うイベントを考える             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティア団体をいくつか見学し、依頼できるか検討</li> <li>2. ワークショップ（親子で安全にできる簡単な工作等）</li> </ol> </li> <li>・講座参加賞（例年お菓子・文具等）の検討・内容を決める</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座のご案内チラシ、通級指導教室に配布するための鑑文を作成する</li> </ul>
10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座のチラシ配布依頼（通級指導教室、近隣の放課後デイサービス等）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート作成</li> </ul>
12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込み終了後、参加者リスト作成</li> <li>・講師へ各児童のお名前手本 作成依頼</li> </ul> <p>お名前見本に午前の部・午後の部参加者がわかるよう色シールをはる</p>
12月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加賞・必要な事務用品の購入、ボランティア保険加入手続き</li> <li>・当日配布するもの、当日会場準備に必要なもの最終確認</li> </ul>
12月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日 会場準備 児童・保護者へのフォロー 写真撮影</li> </ul> <p>会場を1日開放、参加者は自分の進行ペースを考えて来場し、必要な道具を準備して終了時間までに自分のペースで書き上げる。会場には書道教室講師がおり、書き方指導を一人ひとりに声をかけながら実施。スタッフ3名ほどで受付・参加児童の書き初め物品準備等のフォローを行う。当日受付時に事前に参加児童の名前見本の作成したものを配布する。講師の昼食休憩時、児童の親睦も兼ねて、お楽しみ会として1時間半程度で終了する催しを実施。</p>
2020年1月	<p>開催報告書・会計報告書作成・提出</p>

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

一つ宿題をやりきれた、という達成感が、他の冬休みの学習へのやる気につながったり、取り組める時間の確保の支援にもつながる。

同じような課題を持つ児童・保護者が一緒に書き上げるなかで、実際に取り組む姿をみたり、声を掛け合ったりすることで、学校をこえたつながりを作れたり学校外の情報収集ができる。毎年開催することで、同じ講師・スタッフ・同じ会場であることに児童は安心を感じ、安定した気持ちで宿題に取り組むことができる。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 アンケートで参加者満足度 80%以上	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 当日アンケート
------	---	-------------	--------------------------------

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。診断を受けなくとも学習に困難を抱えている児童は多くいると考える。学習に支援が必要な児童が学習をやり遂げる達成感を味わうことができること、安心した場でコミュニケーションを図れることで、日々の学校生活にもよい影響を与えると考える。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>通級指導教室は小学生までであること、通級指導教室に通っていないが発達に凹凸のある児童も多くいると考える。また、長期休暇中の宿題に関して、長期休暇中は通うことができない通級指導教室では学習の支援が賄えていないのが現状である。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>自身が子育てをしているときにこんな講座あったらいいなと思っていた。一人でうまく書けないなら、みんなで書けばいい、書き方については学校の先生でなくても、書道の先生に講師をお願いしたらよいのではと考え開催に至った。塾のように困ったときに教えてもらえる、ということがしにくい宿題に対して支援を展開したいと思った。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにより取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>通級指導教室を利用していない児童でも利用できるようになることで、学習支援をうけられる児童が増える。困り感を持つ児童・保護者が交流できる場ともなり、子育ての共感を得にくい・情報を得にくい保護者の支援にもつながる。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>静岡県ことばと心を育む会からの補助金を受けて3年間事業として運営したことから開催の実現は可能である。参加者も毎年20名以上集まっており、利用者のニーズはある。また、今回から沼津市を中心に広く募集するため、午前の部・午後の部で参加者を募集することで参加者枠を増やす。フォロースタッフを増員することで参加者への指導を行き届きやすくすることができると思う。</p>
活動に 対する 熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>自身の子どもが通級指導教室に在籍していたことがあり、自身が子育ての中で感じてきたことを活動につなげてきた。同じ立場の児童や保護者への共感の気持ちや、一人前の大人になってほしい、と思う気持ちは同じである。児童が大人になったときに、成長に関わってくれた安心できる大人がいたこと、学習だ</p>

げでなく、講座を通して安心して自分の思いを表出できる練習ができたことが社会に出たときの一つの自信になるのではないかと考えている。

### ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

市のバックアップを受けることで、通級指導教室には通っていないが、情報が欲しいと思っている保護者や、同じような活動をしている団体、子どもに対しての支援を展開している団体・企業ともつながりが持てるようになっていくと考える。

通級指導教室に通う児童に限定した講座開催から、広く募集をかけることで新たな親子との出会いが見込める。どのようなニーズがあるか等のニーズ調査も兼ねてアンケートを実施し集計し現状を把握し次年度に活かす。

同じような活動をしている団体とつながることにより、児童が学習支援活動が受けられる機会が増えること、子どもに対しての支援をしている団体・企業とつながることにより、発達に凹凸のある児童についての理解が深められる機会となり、児童にとっても新しい経験が accrue する機会が増えることも目的としたい。

今まで行ってきた、保護者茶話会だけでなく、児童同志で遊びながら経験が積めるような企画や夏季休暇での自由研究等の支援につなげたい。

### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

### ◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。